

ID:

様  
性別  生年月日

**【キイトルーダ/カルボプラチン/ペムトレキセド(Pembro/CBDCA/PEM)療法】**

スケジュール: 3週間を1コースの治療として行います。  
**体調や検査値、副作用によってはスケジュールや点滴時間を変更する場合があります。**

今回のサイクル	次サイクル
4	5

日付	今回のサイクル												次サイクル															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
<b>点滴</b>	<b>キイトルーダ (ペムブロリズマブ)</b> 免疫チェックポイント阻害剤と呼ばれる新しい分子標的薬剤です。人が本来持つ免疫を活性化することで、抗腫瘍効果を発揮します。																											
<b>副作用</b>	<b>注入反応 (インフュージョンリアクション)</b> 多くは、点滴中から点滴終了後24時間以内に起こります。さむけ、呼吸困難、嘔吐、発熱、かゆみ、皮疹等の症状がありましたらすぐにお知らせください。																											
	<b>皮膚障害</b> 発疹、かゆみ、白斑や点ができたり、皮膚の一部が白くなることがあります。口の中や眼などの粘膜がただれたり、発疹が全身に広がるような場合は、すぐに電話連絡の上、ご相談ください。																											
	<b>倦怠感</b> 治療期間中、倦怠感が起こることがあります。無理をせずに体を休めましょう。激しい倦怠感や黄疸、急なむくみなどを伴う場合には肝臓や腎臓の働きが悪くなっていることが考えられますので、すぐにご連絡ください。																											
	<b>甲状腺機能障害</b> 治療期間中、甲状腺の機能が低下したり亢進したりすることがあります。定期的に甲状腺機能等の検査を行います。																											
	<b>下痢</b> 下痢が起こることがあります。水分を十分にとって脱水を防ぎます。整腸剤(ビオフェルミンなど)は腸内環境を整えるため飲んでも良いですが、下痢止め(ロペラミドなど)は飲んでも根本的に治らず悪化するおそれがありますので、自己判断で服用するのは避けましょう。1日に普段より4回以上の排便があったり、水状の便が出た場合は、大腸が炎症を起こしていることが考えられますので、病院へご連絡ください。																											
<b>点滴</b>	<b>アリムタ (ペムトレキセド)</b> がん細胞の増殖の過程(DNA合成)を抑える薬です。 <b>骨髄抑制や吐き気、下痢などの副作用軽減のために9週間(3コース)に1回のVB12の注射(フレスミンS)とパンピタン(葉酸)を毎日服用する必要があります。</b>																											
<b>カルボプラチン</b> 白金製剤と呼ばれ、がん細胞のDNA合成を阻害する薬です。																												
<b>副作用</b>	<b>悪心・食欲不振</b> 治療法に対応した吐き気止めを使用しますが、治療日から数日間、むかつきや食欲不振が起こることがあります。個人差が大きいので、食事や水分が摂れない時はお知らせください。																											
	<b>便秘</b> 抗がん剤や制吐剤(吐き気止め)によって腸の動きが悪くなります。水分を十分にとり、下剤を調節して便秘を予防しましょう。(市販の下剤でも構いません。)																											
	<b>下痢</b> 腸管の粘膜が障害されることで起こります。排便回数がいつもよりも3回以上増えたときや、性状が水様の下痢、また周期的な腹痛を伴う場合は病院に連絡してください。																											
	<b>倦怠感</b> 治療日の2~3日後から数日間起こることがあります。無理をせずに体を休めましょう。																											
	<b>口内炎</b> 骨髄抑制の時期は特に起こりやすくなります。点滴後からうがいでの口の中を清潔に保つよう心がけましょう。																											
	<b>骨髄抑制</b> 点滴後10~14日頃が白血球や血小板の数が一番少なくなることが予想されます。この時期は、手洗い・うがいをして感染症にかからないように心がけたり、ケガや転倒に気をつけましょう。																											
	<b>皮疹</b> 約2割の患者さんに発疹が見られます。かゆみや炎症を伴う場合には塗り薬や内服薬で対応します。																											

ID: [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED] 様

性別 [REDACTED] 生年月日 [REDACTED]

【キイトルーダ/カルボプラチン/ペメトレキセド(Pembro/CBDCA/PEM)療法】

スケジュール: 3週間を1コースの治療として行います。

体調や検査値、副作用によってはスケジュールや点滴時間を変更する場合があります。

『キイトルーダの副作用』 治療状況がいつでも把握できるようにお薬手帳は常に携帯してください。

免疫が活性化しすぎることで、まれに注意すべき副作用が発現する可能性があります。

糖尿病があらわれることがあり、受診時は血糖値を検査しますが、早期発見のため、ご自宅でも市販の尿糖試験紙で尿糖をチェックしていただけます。医師の指示に従ってください。

間質性肺炎という肺疾患が現れることがあり、定期的にCT検査を行い異常がないか検査します。発熱、から咳、息苦しさなどの風邪のような症状が出た場合(間質性肺炎の兆候の可能性)にはすぐに電話連絡の上ご相談ください。間質性肺炎発現時には早期の治療が肝心です。

その他患者さんによって重い副作用が出る場合があります。急にむくみが強くなった、おしっこが出ない、めまいがする、発熱、腹痛、血便など、とにかく不安を覚えるような強い副作用が出たときにはすぐに連絡をしてください。詳細については配布されたパンフレットを参照してください。

処方箋が出された場合には治療と処方薬の確認のため薬局窓口でこの説明書を提示してください。

薬局御中  
副作用軽減のためアリムタ治療の1週間前から投与終了後22日目までパンピタン1g(葉酸0.5mg)の服用が必要です。処方

備考

治療期間中に息苦しい、咳が出る、熱が出るなどの症状が出た場合にはご連絡ください。

(この治療法は、作用の違う薬剤を組み合わせることで効果を高め、副作用を抑えています。)副作用は不快なものですが、対処の仕方、気持ちの持ち方によって感じ方は大きく異なります。患者さんご自身で工夫するとともに、辛いこと、困ったこと等ありましたら、医療者(医師・看護師・薬剤師)にご相談ください。



CHIBA CANCER CENTER

千葉県がんセンター 薬剤部  
千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL: 043-264-5431